

公共建築工事標準仕様書 / 公共建築工事改修標準仕様書 対応

クリヤラッカー塗り (CL)

1. 適用範囲

工事名：
工事場所：
施工業者：
塗装業者：
特約店名：

2. 材料

SW ウッドシーラー金剛 F☆☆☆☆ O01501 SW ラッカー型サンディング金剛 F☆☆☆☆ O01502
SW ラッカー型クリヤー金剛 F☆☆☆☆ O01503 SW ラッカー型フラット金剛 F☆☆☆☆ O01319

3. 施工部位

内装木部

※JIS規格に関するお知らせ

本品は2026年3月14日よりJIS規格の認証更新を取りやめ、社内検査規格に移行しました。
これに伴う原料・製造方法などの変更はなく、JIS規格に記載されている検査項目に対して、
実績として規格値内となっています。

4. 工程

工程	種別		塗料その他 製品名	塗付け量 (kg/m ²)	乾燥時間 (23℃)
	A種	B種			
素地ごしらえ	○(注)1		新設時：18.2.2による、改修時：7.2.2による	—	—
1	目止め着色 (注)2	○	—	適宜	1時間以上
2	ふき取り	○	—	—	
3	下塗り	○	○	SW ウッドシーラー金剛	1時間以上
4	中塗り	○	○	SW ラッカー型サンディング金剛	1時間以上
5	研磨紙ざり	○	○	研磨紙 P220~240	—
6	上塗り (1回目)	○	○	SW ラッカー型クリヤー金剛	2時間以上
7	研磨紙ざり	○	—	研磨紙 P240~320	—
8	上塗り (2回目)	○	—	SW ラッカー型クリヤー金剛又は、 SW ラッカー型フラット金剛	—

(注) 1. 18.2.2 木部の素地ごしらえ、7.2.2 木部の下地調整の種別は、塗料その他の欄による。

2. A種の場合、工程1の着色の適用及び着色に用いる塗料の種類は、特記による。

3. 改修時、新規に塗装を行う場合は、7.2.2 木部の下地調整に代えて、7.3.2 木部の素地ごしらえを行う。

* SW はセーフティーワルツ(トルエン・キシレンフリー)の略称です。

5. 注記

○本仕様は、公共建築工事標準仕様書(令和7年度版)及び公共建築工事標準仕様書(平成31年度版)に基づいた仕様です。

○着色の適用は特記(特別記載)によります。着色が必要な場合のみ適用して下さい。使用塗料や希釈等の詳細は別途、弊社へ相談して下さい。

○改修時、既存塗膜があり、目止め工程を適用する場合は表7.2.1 木部の下地調整のRA種(既存塗膜の全面除去)を適用して下さい。また、改修時、既存塗膜が他種塗料の場合も表7.2.1 木部の下地調整のRA種(既存塗膜の全面除去)を適用して下さい。

○公共建築工事標準仕様書(令和7年度版)は目止め工程と着色工程が別枠です。弊社仕様では別枠を推奨しません。その為、公共建築工事標準仕様書(平成31年度版)を参考に作製しています。

○上記塗布量は公共建築工事標準仕様書(令和4年度版)のクリヤラッカー塗り(CL)の塗付け量です。
(シンナーによる希釈は考慮していません)

○SW ウッドシーラー金剛は原液でご使用下さい。SW ラッカー型サンディング金剛、SW ラッカー型クリヤー金剛、SW ラッカー型フラット金剛の希釈には、SW #500 ラッカーシンナーを使用して下さい。

○乾燥・塗り重ね時間は、温度・湿度等の条件により異なります。5℃以下や多湿時の塗装は避けて下さい。

○工程3と4の間隔が長くなる(24時間以上)場合は研磨工程を入れて下さい。

○製品詳細は、製品カタログやSDS等を参照して下さい。

以上 大谷塗料株式会社